

# 川中島の戦い

## 川中島の戦い



武田信玄(左)・上杉謙信(右)一騎討像  
長野市八幡原史跡公園

戦争: 戦国時代(日本)  
年月日: 1553年(天文22年) - 1564年(永禄7年)  
場所: 日本信濃国川中島(現: 長野市南郊)  
結果: 勝敗着かず

交戦勢力	
武田軍	上杉軍
指揮官	
武田信玄他	上杉謙信他

川中島の戦いとは、戦国時代に甲斐の武将武田信玄と越後の武将上杉謙信が北信濃の支配権をめぐる戦った戦いのことです。川中島の戦いは5回にわたって行われたが、その中で最も激戦だったのが、1561年に行われた第四次合戦です。第四次合戦では、死者が武田軍4000余、上杉軍が3000余りました。

戦国時代

**上杉謙信**

1530~1578年  
越後国(新潟県)

- 越後国を中心に関東・北陸地方に勢力を広げ、「越後の虎」とおそれられた。
- 将軍の求めに応じて京都にのぼり、天下を支配しようとしたが、途中で病死した。

戦国時代

**武田信玄**

1521~1573年  
甲斐国(山梨県)

- 甲斐国・信濃国(長野県)を中心に勢力を広げた。
- 各地の大名と戦い、京都にのぼって天下を支配しようとしたが病死した。



第四次川中島の戦い  
(岩国美術館所蔵「川中島合戦図屏風」左隻部分) 両軍の規模

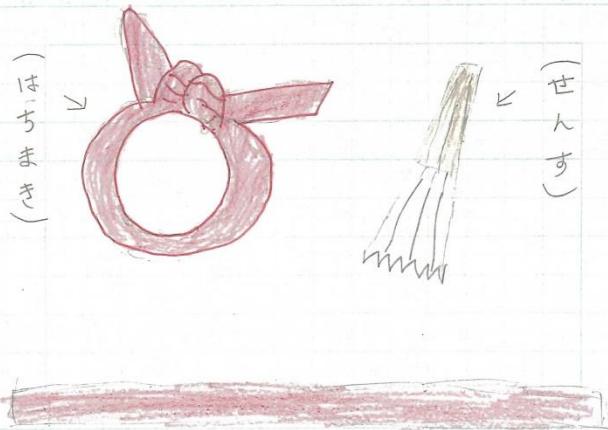
	上杉軍	武田軍	備考
第一次	8,000人	10,000人	小競り合いにて終結。上杉軍勝利?
第二次	8,000人	12,000人	膠着状態になり今川義元の仲介にて、旭山城の破却と、犀川を境として北を上杉領、南を武田領とすることで和睦
第三次	10,000人	23,000人	足利義輝の仲介(御内書)にて和睦。晴信が信濃守護となる
第四次	13,000人	20,000人	前半は上杉軍勝利、後半は武田軍勝利。武田方は武田信繁・諸角虎定・山本勘助など名立たる武将が討ち死にしているが、上杉方のまだった指揮官の犠牲は無し。但し北信濃の地は武田が制圧
第五次	?人	?人	両軍睨み合いのまま双方撤退

川中島の戦いが有名な訳

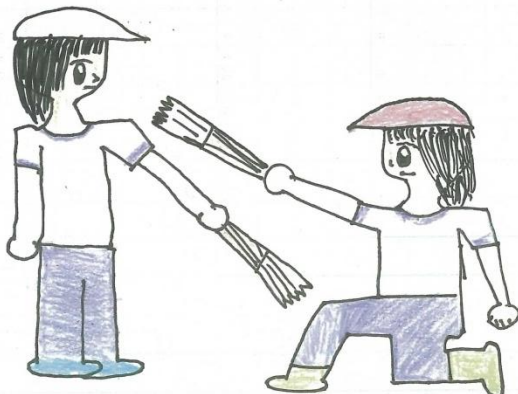
- 12年間続いた。
- 5回も戦った。
- 激戦だったが引き分けだった。
- 「敵に塩を送る」や「武士魂」などの言葉が生まれた。
- 死者が沢山だった。

### 川中島の戦いと昭和小の関係

昭和小に通う子どもなら誰でも知っている川中島の戦い。そのうち最も激しい戦いがあったのが昭和小の近くにある八幡原です。今でも八幡原は、戦場跡地として残っていて、2年生が遠足に行ったりしています。昭和小の運動会では、川中島の戦いを再現した際、川中島を、毎年踊っています。



(これをむすぶとたすきに!!)



メンバー

